

なかふくら

～花と作文とあいさつの学校～

中福良小ブログ



南九州市立中福良小学校

あいさつで人生が変わった 卒業生たちへ贈る言葉①

校長 折田 明世

令和4年度がスタートしました。私は本年度定年退職となるため、最後の1年となります。

最後の1年のスタートにあたり、スローガンを再確認しました。みなさんご存じの、
【花と作文とあいさつの学校】

です。その中で、今月号は、あいさつについて書いてみます。

おはようございます	こんにちは	さようなら
ありがとう	ごめんなさい	

あいさつは、たった一言ながら、その人の人生を変えてしまう力があります。そういうことを実感するエピソードがあります。

「芸人としての才能がないから辞めさせよう。」
という演出家の指摘で、ある青年が浅草東洋劇場から追い出されそうになりました。しかし、
「彼のあいさつは快い。やめさせないで！」
と青年をかばう声が上がりました。そのおかげで、その青年はやめなくてもよかったそうです。
その青年とは、萩本欽一。きんちゃんの、修業時代の話でした。

昨年度、「社会を明るくする運動」で全国の特別賞を受賞した山村悠斗さんの作文にも、あいさつ運動の際にあいさつをしっかりとしたことによって、運転手さんが笑顔になったことが書いてありました。

教員になって、30年以上。数千人の教え子たちがいます。

その中で、気になることがあります。それは、東京に就職していったのに、1・2年して帰ってきてしまう場合があるのです。

- ・ やっぱり、都会よりも鹿児島の方がいい。地元で生活をしたい。
- ・ 他にやりたいこと（仕事）が見つかった。
- ・ 親の仕事（店）を継ぐために帰って来た。

という理由なら大歓迎です。「頑張れ。今度遊びにおいて。呑もう。」と言いたいです。

しかし、それが、「あいさつがしっかりできない」「上司から注意されてふてくされる」という理由でけんかしてやめてしまうのであれば、それは問題です。

ですから、校長になって子どもたちが卒業するとき、必ず、言います。

【勉強は大事だ。しかし、社会にでると、それ以上に、「有難うございます。」「ごめんなさい。」を心をこめて言える力の方が大切だ】

ということ。だから、いやな上司だと思っても、あいさつだけはしっかりとし、3年間は、歯を食いしばって辛抱してごらん、ということ。

入学おめでとう

写真は削除しています。

本年度は入学生が3名。3年連続で新型コロナウイルス感染症防止の措置がとられ、入学式は短縮されました。そんな中でも、少し緊張しつつも、元気よく堂々とした態度を見せてくれました。楽しく元気に勉強に運動にがんばってください。3人の成長が今からとても楽しみです。

児童数	年	男	女	計
1年	1	2	1	3
2年	2	1	5	6
3・4年	3	1	2	3
	4	3	1	4
5・6年	5	2	1	3
	6	0	2	2
たんぽぽ・ひまわり		(4)	(1)	(5)
合計		9	12	21

さん

さん

3名の1年生を

よろしくお願いします♪

さん

◆ 5月の行事予定 ◆		
3	火	憲法記念日
4	水	みどりの日
5	木	こどもの日
10	火	ゆめさとタイム
11	水	体力運動能力調査
13	金	スケッチ大会
14	土	集団下校
16	月	耳鼻科検診
19	木	プール掃除
23	月	不審者対応訓練
24	火	3校合同修学旅行（～25日）
27	金	一日遠足（1～4年）
大型連休後に元気に登校できるように、生活リズムを整えましょう。		

令和4年度職員紹介

(☆は新)

校長
教頭
1年担任
2年担任
3・4年担任
5・6年担任
たんぽぽ担任 ☆
ひまわり担任
養護教諭
事務職員
学校主事
司書員
支援員 ☆

※令和4年度PTA・地区合同歓迎会は、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止いたします。